

高年次教養科目って何？

専門をこえて、広がる学び



2025 Edition

高年次教養教育の 4つのポイント

1

協働学習

社会に出てから必要な異分野の人々との協働を経験！

2

身につく力

専門知識の伝達力

意見統合力

内省力



3

高年次教養科目の種類

展開学問論：専門をこえた交流（学部3/4年生）

地球規模課題：専門をこえた課題解決（学部3/4年生）

カレント・トピックス/フロンティア科目（学部1/2/3/4年生）

大学院共通科目（修士/博士）

4

枠外授業

オンライン&ハイブリッド授業などで、時間や場所の制約を受けない授業も多数！

高年次 教養教育？

他分野の人とゼミ形式で同じ課題に取り組む、3年次以降向けの全学教育科目！これまでに学んできたそれぞれの専門分野の知識を様々な学部が持ち寄り、幅広い視点で物事を捉え考察することで複合的な課題の解決を目指します。学際的な課題を扱う場で、自分の専門性をどこまで発揮できるのか？「研究型総合大学」という環境を活かし、文理・学部問わず様々な人と協働してみませんか？



高年次教養科目の意義

社会に出れば異なるバックグラウンドを持つ人たちと協力することが必要になります。高年次教養科目では、専門教育の進んだ3・4年次の段階で、様々な分野の人たちとの共同学修を通じて、異分野の人々との協働を経験することができます。専門教育とは一味違った、多角的な思考や議論をお楽しみください。

高年次教養科目の種類（＊印は1,2年生も受講可）

- | | |
|---------------|----------------------------|
| ◀ 展開学問論 | 専門を越えたゼミ形式の授業 |
| ◀ 地球規模課題 | 全地球的な取り組みが必要な人類の課題の認識と取り組み |
| ◀ カレント・トピックス＊ | 時事的なトピック |
| ◀ フロンティア科目＊ | 最前線のトピック |



詳細はクイックシラバスで検索
<https://qsl.cds.tohoku.ac.jp/qsl/>

先輩学生が伝える 高年次教養教育に期待できること



他分野の人との交流

私の場合、学年が上がるにつれ、他分野の学生と授業で交流する機会は非常に少なくなっていました。専門的な学習が進んだ今だからこそ、他分野の人間と協働することで得られるものがあるのではないのでしょうか？



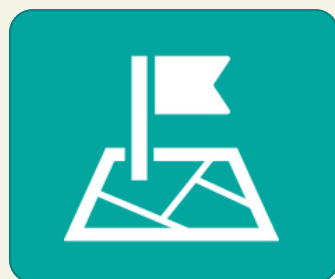
異なる視点からの意見

専門の異なる人の意見を聞くことで、自分では思いもよらなかった考えを得られるかもしれません。時には自分の常識に影響を及ぼすような意見に出会える可能性も。専門外の課題に意見を述べる経験は自他ともにより刺激になるはず！



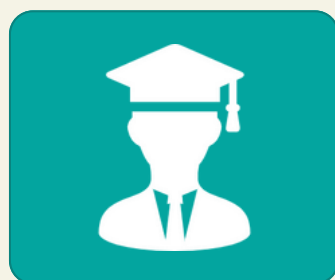
議論のスキル

異なる学部の人と議論する時、専門性の高い言葉は円滑なコミュニケーションを難しくすることがあります。様々な分野の学生が集まる場で議論を行う力を身に着けましょう。せっかく学んだ知識を実践的に使う機会としても優れています！



立ち位置の相対化

分野が異なる人達と協働する中で、自分の分野を相対的に眺め、自分が社会の中でどのような立ち位置にあるのかを感じること、今後自分が果たしたい役割を認識したり、将来のキャリア形成について見えてくるものがあるかも。



専門家として期待に応える

専門科目の知識を、皆さんはしっかり活用できていますか？
「専門家の卵」と名乗ることを躊躇する人も多いのでは？
実際に専門家としての貢献を求められたときに、自分がどこまで通用するのか知ること、そして力不足を感じることは、今後の学修のモチベーションになるに違いありません。

高年次教養科目に対する先生達の思い

- ・ 現状、学年が上がると他学部他学科間での交流が生まれにくいので、その壁を取り払いたい！
- ・ 学際的に協力することの重要性が増している
- ・ 専門が異なると「言語」が違ってくる
- ・ その協働の実践を経験する場を提供したい

2023年の夏、私たちは記録的な暑さを経験した。「地球沸騰化」とも呼ばれる、この地球環境問題に取り組むとき、気候・気象を専門とする人たちに任せておけば良いのだろうか？

急激な温暖化は、電力(エネルギー)問題・水問題・生態系問題・食料問題・健康問題や大雨洪水問題などを生み、それによる経済問題へと発展していく。さらに、この問題を検討するためには、法律が必要となるし、市民への広報・教育、健康問題に対処するための薬学・看護学も必要となるだろう。

つまり、地球沸騰化に向き合うとき、一つの専門分野の力は当然大切だが、専門分野間の話し合い(協働)がなければ対応しきれない。しかし、専門分野にはそれぞれの専門用語や考え方があるために、すぐに理解し合えるわけではない。解決すべき問題は共通だが、問題に対応するやり方は専門分野ごとに異なるので、分かり合える言葉を使いながらコミュニケーションをとっていくほかない。

東北大学では、入学時には学問論で異なる学部の友人と対話はするものの、卒業時まで異なる学部の学生とコミュニケーションをとる経験は少ない。そこで、高年次教養科目を受講して、異なる学部の学生と難しい言葉をわかりやすく伝えるコミュニケーション術を経験し、他者との協働を楽しんで欲しい。

中村 教博



大学院共通科目とは？

東北大学大学院では、あらゆる境界を越え、創造的で活力のある研究者・高度専門人材を育成するため、深い教養の涵養、現代的
社会課題の学修、移転可能スキルの修得を図ることを目的として、令和4年度から「大学院共通科目」を開設しています。



詳細はこちら

令和6年度開講 大学院共通科目

科目名	単位数	対象課程
知的財産セミナー	2	修士課程
融合領域研究合同講義	2	修士課程
修士インターンシップ・キャリア実習A	1	修士課程
修士インターンシップ・キャリア実習B	2	修士課程
大学教授法開発論	2	博士課程
学際研究特別講義Ⅰ～Ⅱ	各1	博士課程
学際研究特別研修Ⅰ～Ⅳ	各1	博士課程
学際フロンティア特別研修	1	博士課程
博士リテラシーの基礎	2	博士課程
博士インターンシップ研修	1～2	博士課程
再生可能エネルギー・バイオマス循環	2	修士・博士課程
多文化理解PBL特別演習	2	修士・博士課程
キャリア・スキル開発特別演習	2	修士・博士課程
グローバル・コミュニケーション協働演習	2	修士・博士課程
国際教育演習	2	修士・博士課程
教養教育院特別講義A	2	修士・博士課程
教養教育院特別講義B	2	修士・博士課程
教養教育院特別演習	2	修士・博士課程